みんなねっとフォーラム2018
シンポジウム＆ディスカッション
「誰もが自分の力を信じ元気で自分らしく生きる」

リカバリーセンターくるめ　施設長
日本ピアスタッフ協会　　会長
磯田　重行

自己紹介

・1969年生まれ。今年50歳。
・長崎生まれの久留米育ち。
・高校、大学時代は福岡市で過ごす。
・趣味はサーフィン、山登り。
（どちらもほとんど行けてません）
・食べることが好き。
（40歳過ぎて、体重が10キロ増えました）

統合失調症の発症

- 大学卒業した24歳のとき。
- 様々な妄想とそう状態。
- 薬で陽性症状はなくなったが、辛い陰性症状が続いた。
- 薬の副作用が大きく、思いどおりに生活できない。
- こんなに辛いのは自分だけ、不幸な家族はうちだけだという感じ。

リカバリーの歩み

・デイケアで仲間と出会ったこと。
・自分だけが辛いのではないという思い。
・目標となる先輩メンバーの存在。
・役割を持ちたい、働きたいという思い。
・リカバリーの原点。

当事者活動との出会い

・くるめ出逢いの会
・精神病者でも権利を主張していい。
・二つ目の自分の居場所。
・ケアマネジメントモデル事業のモデルになって。
・勇気が持てる場所。

WRAPを実践してきて

- 2005年から勉強会を始める。
- 2007年、ファシリテーター養成研修を受講する。
- 自分が今のままでいいという感覚。
- チャレンジできるという思い。
- 全国の仲間との出会い。
- WRAPは自分支えている理念。

ピアスタッフとして

- 2001年、久留米市障害者生活支援センターピアくるめで勤務する。
- 2010年、福岡市早良区にある社会福祉法人つばめ福祉会で勤務する。
- ふたつの施設を任され、新規事業を立ち上げる。
- 2017年度から日本ピアスタッフ協会の会長に就任する。

全国ピアスタッフの集い

- 2012年から始まる
- 昨年で7回目。初めて西日本（大阪）での開催。
- 講演、シンポジウム、分科会で構成する。
- 全国で活躍するピアスタッフの交流の場。
- ピアスタッフを目指す人の情報収集。
- ピアスタッフと働く専門職の参加も多い。

日本ピアスタッフ協会の使命

- 全国の精神保健福祉関係者にピアスタッフの存在をアピールする。
- 孤立しているピアスタッフ同士を繋げる役割。
- 今、苦しみの中にいるピア（当事者）のモデルになる。
- 専門職との協働により、日本でより良い精神保健福祉サービスを目指す。
- 支援者も利用者もピアスタッフもリカバリーを実現する。

ピアスタッフの役割

・リカバリーストーリーを話す。（体験の共有）
・利用者の思いに共感する。
・利用者のモデルになる。
・利用者に寄り添う姿勢が大切。
・専門職と協働する。
・ピアスタッフ自身がリカバリーしていく。
・システム（仕組み）を変革する。などなど、、、、

ピアスタッフの可能性

- 新しい支援のかたちを作る。（WRAP,当事者研究）
- 現場の価値観を変える。
- 地域の価値観を変える。（スティグマの払拭）
- 制度を変えていく。
- リカバリー志向のサービスには必要な存在。
- 精神を病んだ人の希望。

リカバリセンターくるめ

- 2017年9月、株式会社リカバリーセンターくるめを設立する

- 2018年2月から生活訓練事業を中心とした障害福祉サービス事業を始める。

- スタッフ8人のうち、5人がピアスタッフ。

リカバリーセンターのピアスタッフ

Oさん（男性）

・常勤、生活訓練；管理者、ピアスタッフ歴5年

Nさん（女性）

・常勤、精神保健福祉士、ピアスタッフ歴17年

Sさん（女性）

・非常勤、社会福祉士、精神保健福祉士、
　ピアスタッフ歴1年

Aさん（男性）

・非常勤、ピアスタッフ歴3年

施設概要

法人名：株式会社リカバリーセンターくるめ

施設名：リカバリーセンターくるめ

サービスの種類①：障害福祉サービス訓練等給付
自立訓練(生活訓練)サービス
②：特定相談支援・一般相談支援

施設住所：久留米市国分町１０５５－４

電話番号：０９４２－６５－４２２７

FAX番号：０９４２－６５－４２２８

ホームページ　http://rc-kurume.com/

フェイスブック　@longshige2000

自立訓練（生活訓練）サービスについて

- リカバリーセンターくるめ　では

「誰もが自分の力を信じ、元気で自分らしく生きる」

という信念のもと、個々人の状態や希望に応じて

①通所（グループ活動）
　リカバリーセンターくるめへ来所して、プログラムへ参加する
②通所（個別活動）
　リカバリーセンターくるめへ来所して、個別に活動する
③訪問
　リカバリーセンターくるめのスタッフが自宅に訪問し、一緒に個別の取り組みをする

のサービスをおこなっています（通所グループ活動が主になります）

主な実施プログラム（通所サービス）

●香道　●書道　●英会話　●音楽
●クッキング　●ガーデニング　●マインドフルネス
●登山　●WRAP(元気回復行動プラン)
●SST(ソーシャルスキルズトレーニング)　●おはなし会

などなど。

- その他その月ごとのイベントも企画しています（２月はホテルビュッフェと立花町の梅まつり）
- 参加者の方々が楽しめて、自分を認められるようなプログラムづくりを心がけています
- グループ活動に無理に参加していただく必要はなく、必要な方には個々に応じた個別の対応をします
- 詳しくは毎月のプログラム表をご参照ください！

（ホームページからもダウンロードできます）

その他　サービスについて

- 定員は２０名
- 障害程度区分は必要ありません
- 利用期限は原則２年以内です（延長が認められた場合最長３年まで）利用期間の中で一緒に次のステップを見つけ、つなぐ役割です
- 送迎はリカバリーセンターから片道４０分程度まで可能です(片道１００円）
- 毎日食事提供を行っています(一食３００円）
- サービス等利用計画作成が必要な方は、リカバリーセンターの特定相談支援にて作成します

対象になる方

- 基本的に、１８歳以上の「精神障害」の方を主として「知的障害」、「発達障害」の方も利用対象としています。ただし身体障害・難病の方等で精神障害を重複している方のご相談も受け付けますので詳しくはお問い合わせください。

こんな方がいたら、ぜひご検討ください

- 親元から独立して一人暮らしを始めた方
- 入所施設や病院を退所・退院され次のステップへ進むまでのリハビリがしたい方
- どこかに所属先がほしい方
- 楽しめることや趣味を見つけたい方
- 体力や生活リズムをつけたい方
- ひきこもりに悩んでいる方（訪問による支援をおこないます）
- 自分で食事の準備をするのが苦手な方（食事提供や調理実習があります）
- 年齢の割には元気なのでデイサービスは早いかな、という方（年齢制限は設けていません）
- 就労継続や就労移行などを利用していたけれど、途中で調子を崩してサービスが
- 途切れてしまい、復帰のタイミングがなかなかつかめないという方　　などなど。。

- 様々な目的の方に利用していただけるかと思います☺

リカバリーセンターの設備など

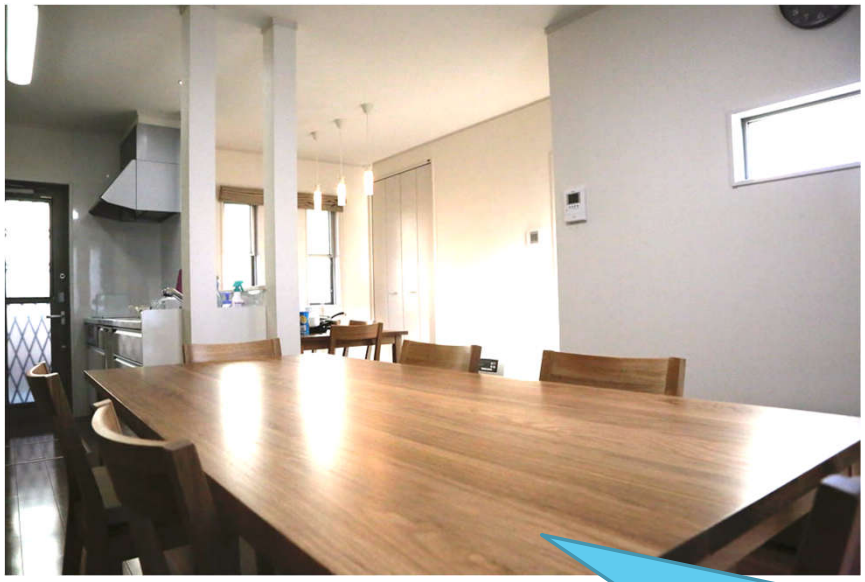
施設外観

地図

少し分かりにくい場所に
あるので、お越しの際は気軽に
お尋ねください ☺

リカバリーセンターの設備など

多目的室・キッチン



休憩室

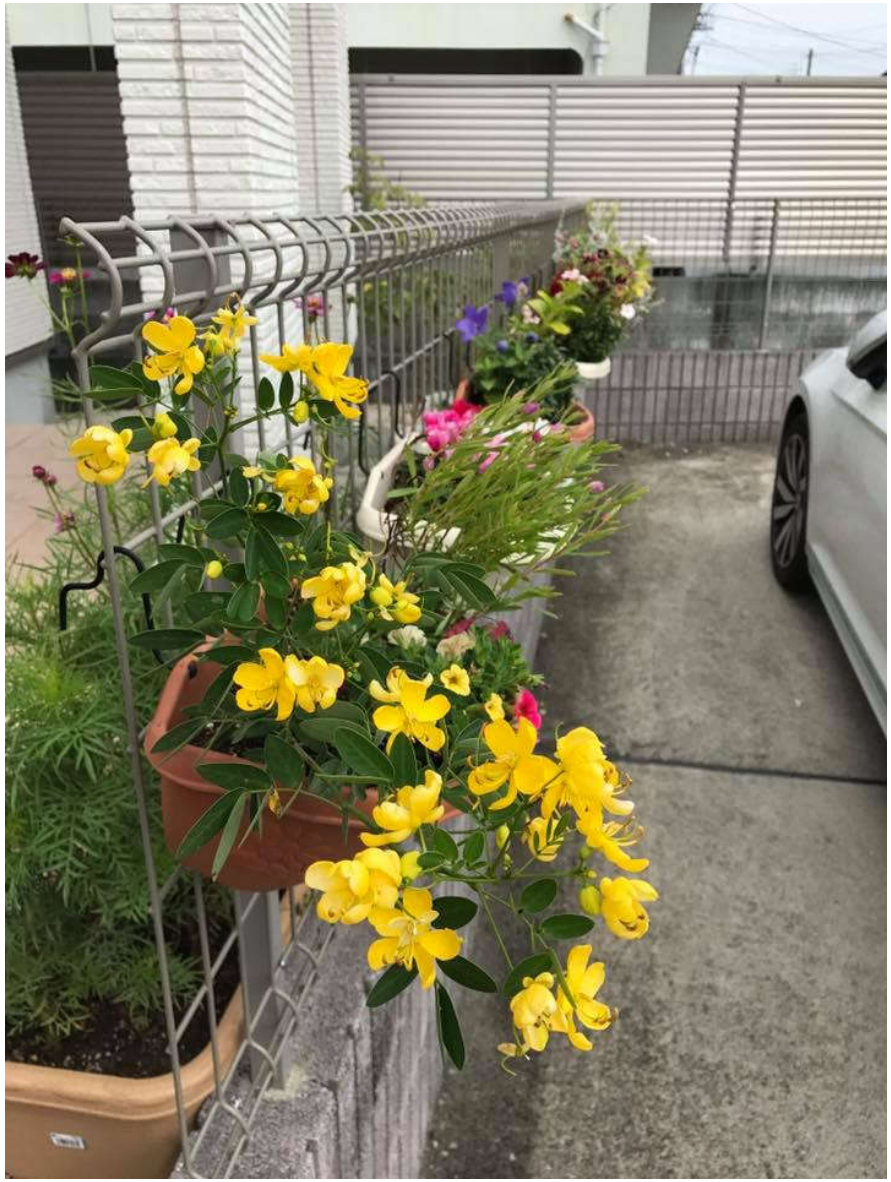
週に４回はご飯を手作りしています☺
（食事提供は毎日）

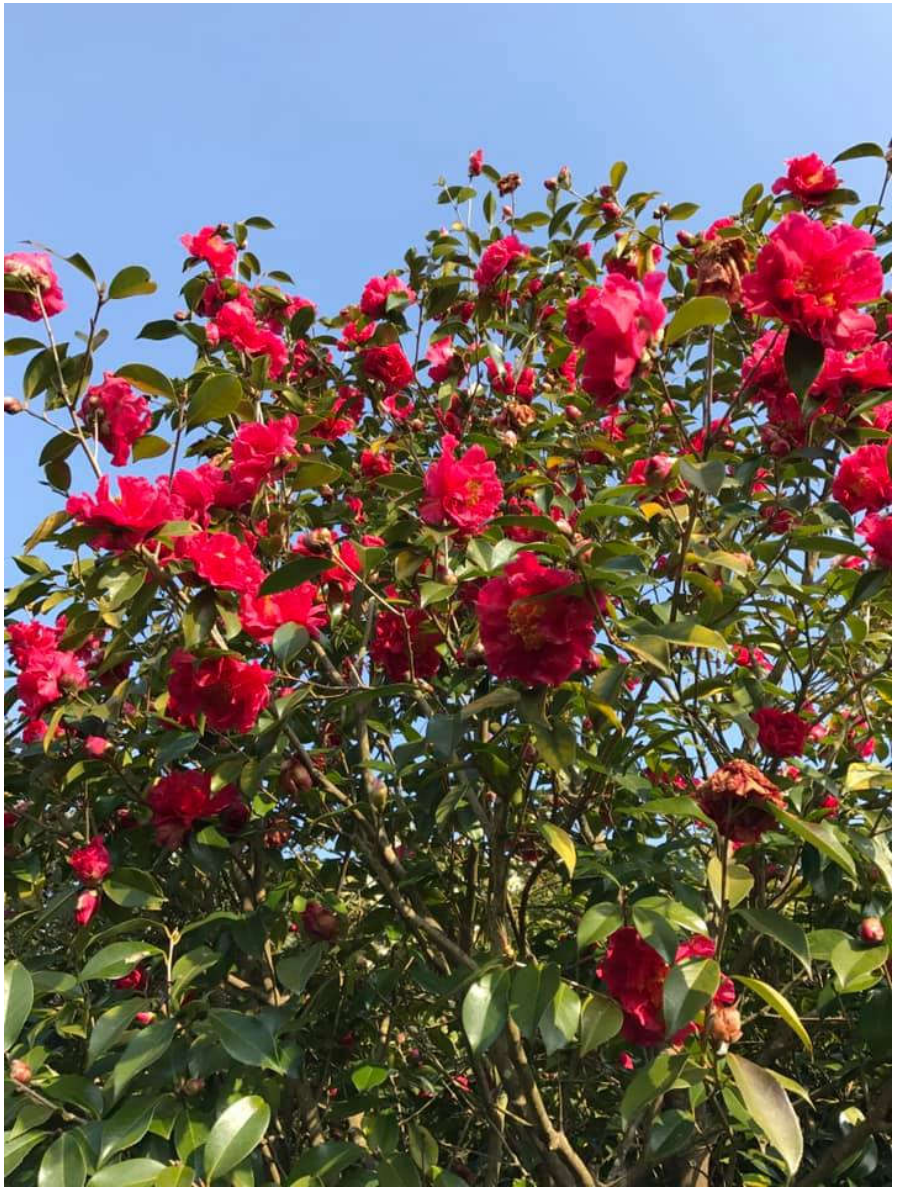
リカバリーセンターの設備など

訓練室

プログラムの様子(WRAP)

ひとり一人のペースを
大切にします！





ピアスタッフのこれから

・利用者にとことん寄り添う姿勢。
・利用者の核心に迫る支援。
・他の専門職との協働。
・枠にとらわれない働き方。
・仕事を獲得していくこと。
・権利擁護。
・共にリカバリーを実現する。

ご清聴ありがとうございました